

みさと 福祉だより

第26号

平成23年
4月1日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



ふれあいサロンで
行われた介護教室
の様子



ふれあいサロン (地域住民グループ支援事業)

この事業は、地域内のお年寄りの閉じこもり防止や交流の場を設けることによって、生きがいを感じ楽しんでもらうことを目的としています。仲間づくりをしながら、みんなが同じ立場で会費等を負担し、参加者みんなで運営するサロン（寄り合いの場）です。

現在は美郷町内69カ所の地域会館で行われており、美郷町社会福祉協議会ではこの活動を支援するための活動費を助成しています。（申し込み等、詳しくは7面）

※「この広報は赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。」

「みんなが築くやさしい未来のまちづくり」
 平成23年度の事業計画と予算をお知らせします
 一般会計支出予算は2億398万円

地域のみなさんから直接
 ご協力いただく会費や寄付
 金、共同募金に寄せられる
 善意は地域福祉の向上に使
 わせていただいています。
 財政経営は一般会計、特別
 会計ともに厳しい状況にあ
 りますが、従来にも増して
 経費節減に努め、健全財政
 を堅持しながら地域福祉・
 在宅福祉の向上を目指して
 ささまざまな事業や福祉サー
 ビスを展開していきます。



3月16日に行われた理事
 会で同意を得た美郷町社会
 福祉協議会平成23年度資金
 収支予算が、同月17日の評
 議員会で議決されました。
 一般会計予算は3面、特
 別会計予算は4面に記載し
 ています。

たすけあい手をつなぐ
 明るいまちづくり

- ◆ネットワーク活動の推進
- ◆まめだ屋・よってっの運営
- ◆おたすけマン事業
- ◆災害ボランティア活動
- ◆たすけあい資金貸付 など



後三年の空き店舗
『よってっ』



災害時要援護世帯を
地図で確認(宝門町)



ふれあいサロンで行われた
介護教室(馬場添会館)



出張理容補助券

気軽にふれあい
 安心のまちづくり

- ◆総合相談・まちかど相談
- ◆ふれあいサロン
- ◆単身老人日帰り旅行
- ◆出張理容補助券の交付
- ◆介護者交流会 など

ささえあい共に
 生きるまちづくり

- ◆一斉除排雪活動
- ◆福祉座談会・福祉大会
- ◆各学校の福祉活動支援
- ◆あんしん電話事業
- ◆福祉だよりの発行 など



一斉除排雪活動



社会福祉大会

平成23年度 一般会計資金収支予算

	大	中	小	予算額(千円)	説明
経常活動による収支	収	入	会費収入	6,133	一般会費、特別会費、法人会費、団体会費
			寄附金収入	274	
			経常経費補助金収入	74,051	町補助金(人件費・移送サービス事業・一斉除排雪事業・福祉センター管理費)
			受託金収入	27,552	町受託金(在宅介護支援センター、高齢者支援事業)、県受託金(生活福祉資金)
			事業収入	273	センター使用料、広告料、空き店舗収入
			貸付事業等収入	2,500	たすけあい資金償還金
			共同募金配分金収入	6,541	秋田県共同募金会(赤い羽根)より配分
			負担金収入	13,173	高齢者支援事業利用者負担金、出向職員給与
			介護保険収入	10,850	町受託金(紙おむつ支給、ふれあいサロン、配食サービス、介護教室等)
			事業外収入	10	研修受入れ
			雑収入	53	印刷機利用料、電話利用料
			借入金利息補助金収入	1,400	町補助金(みさと福祉センター建設償還利息)
			受取利息配当金収入	37	預金利息
			会計単位間繰入金収入	34,213	特別会計(介護事業所、デイ事業)から繰入金
			経理区分間繰入金収入	13,137	一般会計内での資金移動
		経常収入計(1)	190,197		
経常活動による収支	支	出	人件費支出	114,731	29名分(給与、諸手当、法定福利費)
			事務費支出	10,120	法人運営・センター管理事務費
			事業費支出	35,802	地域福祉活動事業、在宅福祉事業、共同募金事業、受託事業等
			貸付事業等支出	2,500	たすけあい資金貸付金
			共同募金配分金事業費	893	歳末たすけあい配分金事業
			助成金支出	3,166	福祉教育推進校、ふれあいサロン、出張理容、ボランティア団体等、
			負担金支出	1,408	安心電話県協負担金
			借入金利息支出	1,400	みさと福祉センター整備償還利息
			経理区分間繰入金支出	13,137	
					経常支出計(2)
		経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	7,040		
施設整備等による収支	収	施設整備等補助金収入	0		
		施設整備等収入計(4)	0		
	支	固定資産取得支出及び繰入金支出	2,500	車庫建設費	
		施設整備等支出計(5)	2,500		
			施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△2,500	
財務活動による収支	収	借入金元金償還補助金収入	9,365	県・町みさと福祉センター償還金補助金	
		積立預金取崩収入	2,500	修繕積立金取崩(車庫建設費分)	
		その他の収入	1		
			財務収入計(7)	11,866	
	支	借入金元金償還金支出	9,365	みさと福祉センター償還金	
		その他の支出	8,853	退職積立金	
			財務活動支出計(8)	18,218	
		財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△6,352		
		予備費(10)	100		
		当期資金収支差額合計額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△1,912	今年度の残金	
		前期末支払資金残高(12)	1,912	前年度からの繰越金	
		当期末支払資金残高(11)+(12)	0	次年度繰越金	

■事業費支出の主な事業

- ※地域福祉活動事業 トータルケア事業、一斉除排雪事業、ネットワーク活動等
- ※在宅福祉事業 日常生活自立支援事業、移送サービス事業
- ※共同募金事業 総合相談、単身老人日帰り旅行、地域福祉座談会、社会福祉大会、福祉だよりの発行、トータルケア事業等

※受託事業

- ・在宅介護支援センター(千畑地区)事業
- ・高齢者支援事業
ふれあい安心電話、お元気ががき、生きがい活動支援通所事業、紙おむつ支給、配食サービス
- ・地域支援事業
ふれあいサロン、転倒予防教室、健康講話、介護教室、介護者交流会、高齢者実態把握等



平成23年度 美郷町介護事業所特別会計資金収支予算

	大	中	小	予算額(千円)	説明
経常活動	収入	経常経費補助金収入		1,452	国保連合会補助金(介護職員処遇改善交付金)
		介護保険収入		71,463	ケアプラン作成料、訪問介護、訪問入浴、町受託金(介護予防プラン作成)等
		自立支援費等収入		1,932	生活支援ヘルパー、身障ヘルパー
		補助事業収入		976	町受託金(身障入浴事業)
		事業外収入		35	実習生受入れ謝礼
		雑収入		5	
	経常収入計(1)			75,863	
	支出	人件費支出		35,188	17名(給与、諸手当、法定福利費)
		事務費支出		333	福利厚生費
		事業費支出		6,613	通信運搬費、研修費、消耗品費、印刷費、車輛費等
負担金支出		50	連絡協議会年会費等		
出	会計単位間繰入金支出		31,000	一般会計へ繰出金	
	経常支出計(2)			73,184	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)				2,679	
施設整備	収入	施設整備等収入計(4)		0	
	支出	固定資産取得支出及び繰入金支出		4,324	車輛1台、ノートパソコン、新介護保険システム導入
	施設整備等支出計(5)			4,324	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				△4,324	
財務活動	収入	積立預金取崩収入		2,200	経営安定積立金取崩
	財務収入計(7)			2,200	
	支出	財務活動支出計(8)		0	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				2,200
予備費(10)				0	
当期資金収支差額合計額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)				555	今年度の残金
前期末支払資金残高(12)				0	前年度からの繰越金
当期末支払資金残高(11)+(12)				555	次年度繰越金



平成23年度 デイサービス事業特別会計資金収支予算

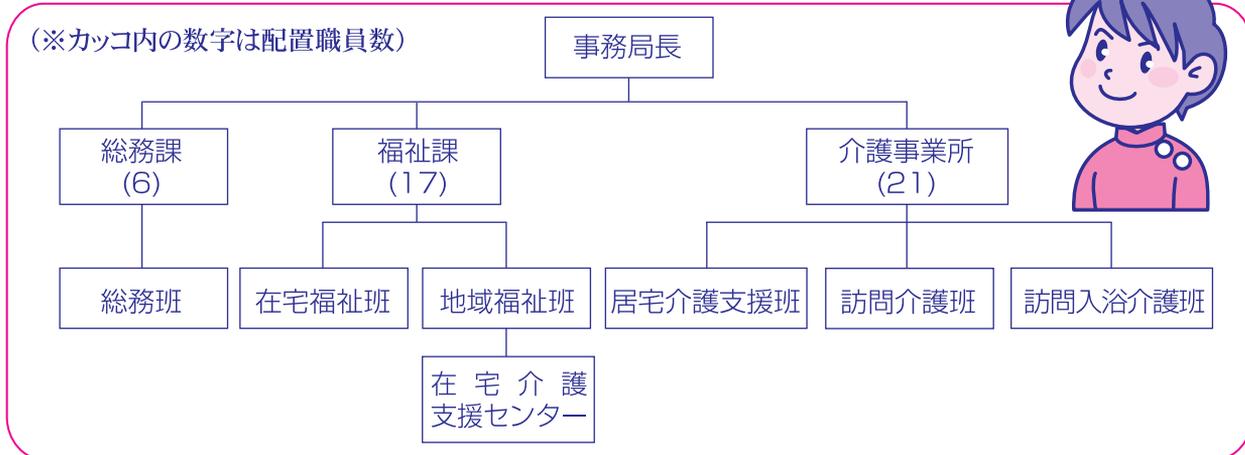
	大	中	小	予算額(千円)	説明
経常活動	収入	経常経費補助金収入		84	国保連合会補助金(介護職員処遇改善交付金)
		介護保険収入		4,745	通所介護、介護予防通所介護
		経常収入計(1)			4,829
	支出	人件費支出		161	兼務職員人件費一部
		事務費支出		37	福利厚生費
		事業費支出		1,415	行事協力謝礼、通信運搬費、水道光熱費、浴槽検査料等
		負担金支出		3	連絡協議会年会費
	出	会計単位間繰入金支出		3,213	一般会計へ繰出金
経常支出計(2)			4,829		
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)				0	今年度の残金
施設整備	収入	施設整備等収入計(4)		0	前年度からの繰越金
	支出	施設整備等支出計(5)		0	次年度繰越金
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				0	
財務活動	収入	財務活動収入計(7)		0	
	支出	財務活動支出計(8)		0	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				0	
予備費(10)				0	
当期資金収支差額合計額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)				0	
前期末支払資金残高(12)				0	
当期末支払資金残高(11)+(12)				0	



社協の組織体制が変わります

美郷町社会福祉協議会、美郷町介護事業所の事務局では平成22年度に事務所をみさと福祉センター(旧千畑福祉センター)へ統合し、「班」体制で事業を進めてきました。

そして平成23年度からはより統一性のある地域福祉を進めるため、「課」体制のもとで連携のとれた業務の実現を目指します。なお、事務局体制は次の通りです。



法人事務所



介護事業所



デイサービスルーム

◎総務課

- ・総務班・・・法人運営、財政、経理、労務管理など

◎福祉課

- ・地域福祉班・・・トータルケア事業、総合相談、福祉座談会など
- ・在宅介護支援センター・・・在宅介護支援、要援護者実態把握など
- ・在宅福祉班・・・デイサービス、配食サービス

各課の業務内容

◎介護事業所

- ・居宅介護支援班・・・ケアプラン作成、認定調査、介護相談など
- ・訪問介護班・・・在宅でのホームヘルパー訪問介護
- ・訪問入浴介護班・・・入浴車による在宅での入浴介護

これからも、組織体制の再編成にともなう地域の皆さんの不便や不安の解消に努め、これまで以上に信頼される社会福祉協議会を目指して、きめ細かい福祉事業を展開していきます。

歳末たすけあいの募金・お礼と報告

昨年12月の歳末たすけあい運動ではバザーの供出品をはじめ、たくさんの方の善意が寄せられました。厚く御礼申し上げます。募金の実績は下記のとおりです。

これらの善意は町内の生活困窮世帯75世帯の方々へ、あたたかい正月を迎えていただくためにお届けしました。

また、経費を除いた残金は赤い羽根募金と合わせて秋田県共同募金会へ送金し、今年度に美郷町社協へ配分される額に上乘せされます。



美郷町老人クラブ連合会様と千畑支部様と仙南支部様より団体募金としてたくさんのご寄付をいただきました。ありがとうございます。



◎歳末募金額	957,170円
内訳	
団体募金	420,000円
個人募金	38,370円
歳末バザー売上	465,855円
その他(募金箱等)	32,945円
◎配分内訳	
生活困窮世帯へ配分	950,000円
配分に係わる経費	3,796円
秋田県共同募金会へ送金	3,374円

ありがとう

仙南地区4校からプルタブ

191kg

仙南東小学校、仙南西小学校、金沢小学校、仙南中学校の児童・生徒の家庭で集められた空き缶のプルタブを本会へご寄付してくださいました。

このプルタブを換金し、ロートピア仙南へカラオケ機材を贈呈するための費用として充当させていただきました。

約2年かかって集められたプルタブは全部で191kgにもなり、一人一人のたくさんのあたたかい善意が伝わってきました。



ちりも積もれば山となる! 抱えきれないほどのプルタブ(50kg)をいただきました。(仙南西小学校にて)

美郷町社協では、7月の社協会費をはじめ、10月の赤い羽根募金、12月の歳末チャリティーバザーの供出品など、町民のみならず企業・団体、職場、学校などからたくさんのご協力をいただきながら事業を行っています。

これからも地域福祉活動の向上を図り「ひとりの不幸も見逃さない町づくり」「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目指して努力していきますので、今年度も引き続きご協力くださいますようお願いいたします。



あなたの地域でも『ふれあいサロン』始めませんか？

『ふれあいサロン』は、地域のお年寄りを対象に会館等を集いの場として、いつまでも元気で過ごせるように健康づくりや、みんなで和気あいあいと一日をゆっくり楽しく自由に過ごしていただくことを目的としています。

美郷町社会福祉協議会では『ふれあいサロン』の活動費として年間2万円を助成しますが、申し込み期限は6月末日までとなっています。希望する地区や内容を聞きたい方はお問い合わせください。

美郷町社会福祉協議会 (☎85-2294)



ふれあいサロンで行われた
介護予防教室の様子

在宅の寝たきり世帯に『出張理容補助券』を発行します

美郷町社会福祉協議会では、寝たきりの方の衛生保持と在宅介護の支援を図るため「出張理容補助券」を発行します。

この事業は美郷理容師会の協力により行われており、美郷理容師会に加盟する理容店で出張理容を利用した際、料金の一部として補助券（1枚3,000円分）を利用できるものです。

◎対象者：美郷町在住で在宅の寝たきりの方（障害児含む）※年齢は問いません
（ベッド上での生活が主である方）

- ◎申請場所：みさと福祉センター
- ◎申請方法：印鑑を持参し、申請書に必要事項を記入
- ◎発行枚数：1人2枚まで
- ◎利用できる加盟店：補助券の発行時にお知らせします。



※申請にお越しいただくことが難しい場合は電話などでご相談ください。(☎85-2294)

初めて福祉センターへお越しいただく方も目につきやすいように、県道角六線沿いに設置しています。
なお、西側入口をご利用の際は職員駐車場内での事故のため、十分ご注意ください。



県道角六線沿いに設置した案内板（写真奥が北側）

これまで、車で乗り入れられる入口は東側にしかありませんでしたが、西側（県道角六線）からも車での乗り入れができるようになり、西側入口にも案内板を設置しました。

福祉センター西側
入口に案内板を設置

グループホーム
やすらぎの家

AED
認知症なんでも相談所

介護(福祉)に
そよかせ
TEL.0187-84-1750
美郷町畑屋字塚塚213-1

若竹 TEL.0187-84-2887

みさと福祉だよりへ 広告を掲載してみませんか？

発行回数：年6回(偶数月) 毎号6,800部

掲載料金：1コマ(50mm×85mm) 7,000円

※詳細は美郷町社会福祉協議会 広報担当までお問い合わせください。

TEL 0187(85)2294

みさと福祉センターの職員を紹介します

平成23年4月1日付けの人事異動(組織体制の変更)に伴い、職員配置が次のとおりとなりました。

美郷町社会福祉協議会 事務局長 伊藤 聡胤	福祉課 課長 木村 節男	在宅福祉班 班長(管理者) 高橋由美子(千畑デイ) 主任 村田 剛(千畑デイ)
総務課 課長 渋谷 真弓 総務班 課長(班長) 渋谷 真弓(兼務) 上席主任 佐藤 繁 主任 小原真智子 主任 傳野 寛史 (出向) 主任 藤澤永一(温泉) 主任 小原昭市(温泉)	地域福祉班 班長 木村 節男(兼務) 上席主任 高橋 文広 主任 齊藤 彰 主任 高橋真由美 主事 鈴木裕美子 嘱託 大山 文広 在宅介護支援センター 主事 鈴木裕美子(兼務)	指導員 栗澤 博子(六郷デイ) 援助員 小松ひとみ(六郷デイ) 指導員 大阪 誠次(仙南デイ) 援助員 中田 京子(仙南デイ) 援助員 池田裕美子(仙南デイ) 援助員 進藤きぬ子(千畑デイ) 主任 盛岡 博美(配食) 栄養士 田口 人美(配食) 調理員 高橋真由美(配食) デイ：生きがいデイサービス 配食：配食サービス
美郷町介護事業所 所長 板谷 智子 居宅介護支援班 班長(管理者) 加賀谷陽子 上席主任 小西 蓉子 主任 高橋 和幸 介護支援専門員 加藤まさ子 介護支援専門員 渋谷 好美 介護支援専門員 戸沢利津子 介護支援専門員 草薙 満穂	訪問介護班 班長(管理者) 佐藤 幸 サービス提供責任者 東海林光子 サービス提供責任者 加藤 一美 訪問介護員 福田 弘美 訪問介護員 橋本 教子 訪問介護員 照井 蝶子 訪問介護員 佐藤とよ子 訪問介護員 高橋カツ子 訪問介護員 森川登与子 訪問介護員 後藤ティ子 訪問介護員 菊地千恵子	訪問入浴介護班 班長(管理者) 小西 蓉子(兼務) 看護職員 加藤まさ子(兼務) 看護職員 渋谷不二子 介護職員 村田 貴英 退職者 (3月31日付け) 高橋 幸悦 大阪 孝次 煙山 誠子 加藤 敏子 長い間お疲れ様でした。 町へ帰任(3月31日付け) 上席主任 渋谷 望

先月3月11日に発生した東日本大震災では多数の犠牲者と避難者を出したことを受け、「全国災害たすけあい」として美郷町共同募金会でも秋田県共同募金会と連携しながら9月30日まで義援金の受け付けをしています。

被災された方々の復興を願い、救助の一助とするため、ご協力よろしくお願いします。



善意

(平成23年2月1日～3月31日受付分)

■一般寄付

秋田銀行 六郷支店 様
 美郷町立金沢小学校児童会 様
 軍恩連盟千畑支部 様
 ※このほか、匿名でのご寄付もい
 ただいております。

■物品寄付

後三年 高橋 千枝 様(紙箱)
 安城寺上 奥山 障次 様

■香典返し

森先 久米 辰美 様
 本堂西部 進藤 幸雄 様
 黒沢 若畑 昇 様
 土崎南部 高橋 時次 様
 第二曉 今川 泰司 様
 土崎北部 佐々木輝男 様
 高階 誠紀 様
 黒沢 高橋 強 様
 小荒川 樽川 秋二 様
 土崎北部 樽川 栄市 様
 駅前 渋谷 栄市 様
 上町 岡田 登 様
 野荒町 木村 春生 様

以上の方々より当協議会に善意の金品をご寄付いただきました。
 ご厚意に対し心からお礼申しあげます。
 ご寄付いただいた場合、必要な方へはがき(忌明け・快気祝い等)を無
 料で作成しお届けいたします。

編集後記

平成22年度は猛暑と豪雪、そして震災という自然災害が多発した年度でした。美郷町では特に大きな被害はありませんでしたが、実際に人命にかかわるような被害が出た場合、社協の一員として何ができるかをいろいろ考えさせられました。

自然災害は決して『対岸の火事』ではないことを皆が肝に銘ずる必要があるのではないのでしょうか。

(H・D)